

公表

## 事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	ギフトリゾート		
○保護者評価実施期間	R8年1月8日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R8年1月8日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが固定しないように工夫している。	一か月の予定を立てていく中で一週間ごとにプログラムを決めて、毎週子どもたちが楽しく取り組めるようにしている。	同じ人が計画を立てるのではなく、色々な人が案を出し計画することによって、プログラムが偏らないようになると思うので、今後もチームで立案していく。
2	家族で参加できるイベントを行っている。	年2回、夏まつりとクリスマス会を事業所とは別の会場を借りて、家族で参加できるように企画し、子どもたちの様子を見てもらう機会を作っている。	今まで年1回だった、家族参加型のイベントを今年度は2回に増やした。保護者の方からも好評いただき今後も内容の充実を図っていく。
3	季節に合わせた活動を行っている。	季節に合わせた制作をおこなったり、節分やひな祭りなどといった行事にはイベントに合わせたゲームなどを企画したりして活動している。	楽しいイベントで終わらせるのではなく、5領域に照らし合わせながら企画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	毎月一回「お茶会」と称して保護者の方に集まっていたり機会を設け、お悩み事や相談事をお話できる会を開いている。しかし、周知されていないのか、タイミングが合わないのか参加できる方が少ない。	毎月土曜日に行っていたが、平日にも行ったり、テーマを決めて行ったりして、より多くの保護者にご参加いただけるようにしていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動できる機会はあるか。	活動プログラムに放課後児童クラブや児童館との交流を組み込んでいない事やお互いの安全面が心配で積極的に行えていない。	事業所主催の夏まつりなどのイベント時にポスターやSNSを活用して地域の方にお知らせしているので、親子で参加していただけたらと思う。
3	事業所では事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が作成され、保護者に周知・説明されているか。	各種マニュアルは作成できているが、保護者の方に周知していただく機会を持てていなかった。	今後は契約時などに周知していただけるようにしていく。

公表	事業所における自己評価結果 児童発達支援
----	----------------------

事業所名	ギフトリゾート	公表日	2026 年 2 月 16 日
------	---------	-----	-----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・活動内容に応じて、パーテーションで区切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・基準配置以上の人数の職員で療育に当たっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・絵カードなどで視覚的に分かりやすくしている。 ・建物の構造上完全なバリアフリーではない。	・対象児がいないためバリアフリーにはしていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・室内は見通しがよく、常に整理整頓されている。 ・活動に合わせて空間を仕切り、落ち着いて活動ができています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・個別に個室を利用できるようになっている。 ・子どもの状況に応じて個室やその他の部屋を指導員と一緒に使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	・勤務時間がバラバラなので、広く職員がというのは難しいが連絡ノートなどを活用して共通理解している。	・全員に周知できるように今後も連絡ノートを活用していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・保護者からの意見を取り入れ、指導員間で共有することができている ・モニタリングやお茶会など、また毎日の送迎などで話を聞き、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・いつでも意見交換できるようにしている。 ・朝の朝礼やその都度気付いた点などを報告し改善できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	・現在は第三者評価を受けていない。	・第三者評価は検討中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・希望者は受けられるようになっている。 ・外部研修の掲示があり、受講できる機会を作っている。 ・事業所内での研修も定期的に行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・日々の行動観察や保護者との情報共有を元に支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・支援計画を回覧し、全職員で共通理解し、見直しを行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・職員間で情報共有を行い計画に沿った支援に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・子どもに合わせた支援方法、課題を整理し、それに基づいた支援計画を立て、支援を行うように設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・職員間で話し合っ決めている。 ・個々に合わせたプリントや季節に合った製作活動、イベントが行われている。 ・様々な経験ができるように計画を立てている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・季節に合わせた制作や遊びを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・個別の活動やレクリエーションなどを組み合わせ活動している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・勤務時間が異なるが、口頭や連絡ノートで確認することができる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・都度、気付いたことを共有している。 ・朝礼や連絡ノートを使い職員間で共有している。	・支援終了後ではないが、都度気づきを共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・毎日、記録を取り、気になるところは話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・モニタリングやアセスメントした内容を職員間で共有し、支援計画に役立てている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3	・研修会などには参加させていただいている。	・今後も研修会などには参加し、アドバイスを受けたいと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	・イベント時、地域の子どもと活動がある。	・夏まつりは地域の方にSNSやポスター掲示をして参加を呼びかけている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・送迎時や迎えの時に伝えるようにしている。 ・連絡帳のアプリを使って様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			・月に一回、保護者同士の交流の機会を設けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			・連絡アプリやSNSを使って情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			・鍵付きの戸棚で書類等を管理している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1		イベント時にポスター掲示などしてお知らせしている。 ・夏まつりは地域の方にSNSやポスター掲示をして参加を呼びかけている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			・月に一回は災害や防犯などの訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			・アレルギーのあるお子様に対しては自宅からおやつを持参いただき、名前付きのトレーやお皿を用意して別机で食べるように対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			・その都度情報共有をし、全職員が周知できるようにしている。 またその時に再発防止の対策を話し合っている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10				

公表

## 事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	ギフトリゾート		
○保護者評価実施期間	R8年1月8日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年1月8日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが固定しないように工夫している。	一か月の予定を立てていく中で一週間ごとにプログラムを決めて、毎週子どもたちが楽しく取り組めるようにしている。	同じ人が計画を立てるのではなく、色々な人が案を出し計画することによって、プログラムが偏らないようになると思うので、今後もチームで立案していく。
2	家族で参加できるイベントを行っている。	年2回、夏まつりとクリスマス会を事業所とは別の会場を借りて、家族で参加をできるように企画し、子どもたちの様子を見てもらう機会を作っている。	今まで年1回だった、家族参加型のイベントを今年度は2回に増やした。保護者の方からも好評いただき今後も内容の充実を図っていく。
3	季節に合わせた活動を行っている。	季節に合わせた制作をおこなったり、節分やひな祭りなどといった行事にはイベントに合わせたゲームなどを企画したりして活動している。	楽しいイベントで終わらせるのではなく、5領域に照らし合わせながら企画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	毎月一回「お茶会」と称して保護者の方に集まっていたり機会を設け、お悩み事や相談事をお話できる会を開いている。しかし、周知されていないのか、タイミングが合わないのか参加できる方が少ない。	毎月土曜日に行っていたが、平日にも行ったり、テーマを決めて行ったりして、より多くの保護者にご参加いただけるようにしていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動できる機会はあるか。	活動プログラムに放課後児童クラブや児童館との交流を組み込んでいない事やお互いの安全面が心配で積極的に行えていない。	事業所主催の夏まつりなどのイベント時にポスターやSNSを活用して地域の方にお知らせしているので、親子で参加していただけたらと思う。
3	事業所では事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が作成され、保護者に周知・説明されているか。	各種マニュアルは作成できているが、保護者の方に周知していただく機会を持てていなかった。	今後は契約時などに周知していただけるようにしていく。

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス

事業所名	ギフトリゾート					公表日	2026年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・建物の構造上完全なバリアフリーでは無い。	・対象児がいないためバリアフリーにはしていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・集中して活動に取り組みやすく、個室を利用する子どもの活動意欲が高まっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	・毎日の朝礼などで意見を出し合い業務改善を行っている。	全員に周知できるように今後も連絡ノートを活用していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・保護者からの意見を取り入れ、指導員間でそれを共有する事ができている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	・現時点では第三者評価は実施していない。	・第三者評価は検討中である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・希望者が受けられるようになっている ・外部研修の掲示があり、受講できる機会を作っている。 ・事業所内での研修も定期的に行っている。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・共通理解できている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・朝礼等で話し合いながら月毎の予定を決めている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・支援終了後はできていないが、朝礼やその都度情報共有を行っている。	・支援終了後ではないが、都度気づきを話したり、連絡ノートを活用したりして共有できている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	6	・まだ卒業生がいないので行っていない。	・まだ対象児がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	・研修のお知らせなどはいただくので希望者は受けられるように知らせている。	・今後も研修会などに参加し、アドバイスを受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	・活動する機会は設けてはいるが、夏まつりなどのイベントは地域の方にお知らせしている。	・安全面を考えるとなかなか踏み出せないところはある。夏まつりはSNSやポスター掲示などで保護者の方との参加を呼びかけている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	・積極的に参加できていない。今後はホームページなどをチェックして、参加をしていきたいと思う。	・参加を検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・連絡帳を通して日々の療育の様子をお伝えしたり、お会いした時に話したりしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時にお話をさせていただいています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・随時行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	・イベントの時にポスター掲示をして地域の方を招待している。	・年に一回夏まつりの時に行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				